2025/7/13 津校東京同窓会「輪番幹事会⑤」記録

日 時 2025年(令和7年)7月13日 14:00～15:30
場 所 品川区中小企業センター2階 小講習室
出席者 昭51年卒 相楽晶子、佐藤康子、谷本智彦、坪香かよ子、中村智子
(23名) 昭52年卒 橋爪吉博、正岡文人
昭62年卒 川口香苗子、勝見仁彦、阪本浩一、白木光彦、中川泰典、
長崎透、永橋信隆、日置健、吉村かつら
事務局 伊藤俊一、神戸洋史、森川邦彦、吉田万里子、中川法子
森田和久、清水徹

1. 本日、西村会長は欠席。事務局長より、8月3日に、大崎第一区民集会所第1集會室において、案内状約1,300通の封入作業を行った後、大崎郵便局から発送する予定であることの説明がなされた。また、開催日当日の会計の手順などについては議事後半で事務局の伊藤氏より説明。
2. 協賛に関しては、現在S&B食品と清水清三郎商店の2社が昨年に続き応諾、新たにサントリーから協賛いただける見込み。
また、津市東京事務所を經由しておやつカンパニーに協賛を打診したところ「ラーメンおつまみ」180個を提供するとの回答があった。
3. 恩師については、青山雅樹先生(S44卒)をお願いすることになった。
もう1名については、校長先生にお願いして現役の先生1名を推薦をして頂くこととした。毎年10名以上の学生会員も出席しており、若い年代の出席者を増やすには津高に在職中の先生を招くのも一案と考えた。
4. 来賓のあいさつについて。
本部同窓会の飯田前会長の挨拶をどこに入れるか、西村会長が本部の意向を確認したところ、総会の最後をお願いすることとなった。
5. 役割の割り振りについて。
事務局の伊藤氏より、受付の仕事についての説明がなされた。つまり、①お金を扱うこと、②卒業年度に応じて受付を4つに分けること、そのほかに寄付の受付の窓口を設けること(合計5つの受付窓口を設けること)、③開始後に

来場した人達のための受付が必要で、合計で18名程度が必要となることが説明された。

また、既に6月16日にメールで送付したあった受け付けのマニュアルのドラフトに則り、まず、輪番幹事学年の会計責任者（受付から集まったお金の確認と集計担当）を佐藤氏（S51年卒）、永橋氏（S62年卒）が行うこととなった。

次に、4つの受付については、①谷本氏、②橋爪氏、③正岡氏、④白木氏が、寄付金については川口氏が各窓口の責任者となった。

さらに、開始後の来場者の受付は長崎氏が、開始後の寄付金の受付は中川泰典氏が行うこととなった。

その後、伊藤氏より、マニュアルに則って、①開始前の来場者は名簿に青色でチェックし、開始後の来場者については名簿に赤色でチェックする、②寄付金の担当者は、寄付をした人にしかるべき挨拶を行うこと、③未成年の来場者には飲酒しないようにチェックすること（飲酒制限については20歳未満のまま維持されています）、③総会開始後1階の事務局にお金を預けること、④寄付金が多くなったときは、個人の名前と金額を記載すること等の説明がなされました。

なお、予め青いボールペンを5本、赤いボールペンを2本用意することとなった。

6. 受付に関連して、出席者の席の案内をどうするかについては、最初から出席者の机を決めて方向で考えることになった（この場合、受付の際の名簿に席の番号を予め記載しておくなどの方法によることとなります）。

7. 校歌斉唱の際に指揮台を用意するか、について

他の挨拶や話をしてくれる人のことを考えると、ステージ設営（2枚：240cm×240cm×30cm）を用意するのがよいということになった。

指揮者は、候補者が出てこないので、今年は「なし」で実施。

8. くじの抽選について

時間短縮の観点から、①予め全出席者の氏名を記載した紙を1つの函に入れておき、協賛をしてくれた人が順次函から紙を取り出し、当選者を決める、②担当者は、当選者が決まる都度、開場前方に案内する、②最初の協賛者の抽選が済んだとしても、そのまま次の協賛者による抽選を続け、全当選者が決まっ

た後に、④順次協賛者から当選者に賞品を渡す、という流れで行くことになった。

ただ、(a)協賛者の挨拶をどこに入れるか（くじ引きをする前か、当選者に賞品を手渡すときとするか）、(b)協賛者が出席できないときはどのようにするか、(c)当選者を会場前方に案内する担当者の決定、(d)おやつカンパニーの180個のらーめんおつまみについてどのように対応するか、については未定のまま残った。

9. 東京同窓会のウェブサイトについて

東京同窓会のウェブサイトは、「出欠連絡／ご連絡」のところを除いて、修復した。

「出席連絡／ご連絡」の機能は、まだ使用できない状況である。

以上